

# 社会人硬式野球チームの全国大会出場を誓う

◆令和元年度県社会人硬式野球ベストナイン 投手部門 選出

◆第46回丁ABA県クラブ選手権大会兼第44回全日本クラブ選手権県予選大会優勝  
最高殊勲選手賞 受賞

MKSIベースボールクラブ

## 田村洋人 さん

たむら・ひろと 22歳 〓松久保〓



平成9年生まれ。小学2年時から平館小野球スポーツ少年団へ入団。西根第一中、平館高の野球部を経て、平成28年4月から滝沢市で活動する社会人野球チームのMKSIベースボールクラブへ入団し、投手を務める。右投右打。身長175㎝、体重78㎏。

11月23日にサンセール盛岡で今季の県社会人硬式野球ベストナイン表彰式が行われ、田村洋人さんが投手部門で選出された。創立5年目のMKSIベースボールクラブに所属し、チームの大黒柱として9試合70イニングに登板。防御率1・92で6勝を挙げた。クラブ選手権県予選では5勝し、最高殊勲選手賞を受賞。チーム初優勝に貢献したことが評価された。田村さんは「まさか自分が選ばれるとは。素直にうれしい」と満面の笑みを浮かべた。

平館高卒業後、MKSIベースボールクラブへ入団。八幡平市役所に勤務し、仕事の傍ら毎週土・日曜日は野球グラウンドで練習に汗を流す。入団3年目の冬、なかなか結果が出ないことに悩んだ田村さんは、ウエイトトレーニング器具を自室に設置し、肉体改造に励んだ。「体重を

約6㎏増量しました。クラブ選手権県予選でその成果を出すことができ、初優勝に貢献できたことがとてもうれしい」と自信を見せる。

県予選を突破したMKSIベースボールクラブは全日本クラブ選手権第2次予選東北大会の1回戦でオールいわきクラブ(福島県)と対戦し、5対6で惜敗。田村さんは「ミスではなく、自分の投球で連打を浴びて負けた悔しい試合。今後も野球を続け、雪辱を果たしたい」と全国大会出場を誓った。



最速140㎞のストレートと多彩な変化球で勝負する田村さん

### 編集後記

▽あけましておめでとうございます。昨年は未経験の広報作成という部署に配属され、バタバタの連続でした。今年も、もう少し落ち着いて仕事ができるように見直したいです。とりあえず、年明け最初の仕事は、スキー大会の役員です。この広報が皆さんの手に届く頃は、田山スキー場にあるジャンプ台で着地斜面の整備をしているはず。過酷な作業ですが、選手が安全に着地できるように気が抜けません。(宏)

▽キラリ輝人の田村さんを取材しました。筋トレの方法を伺ったとき、壊れた筋肉が回復するときに強くなることや、毎日ではなく3日置きくらいがちょうど良いことなど、「筋肉の話をしらたら止まりません」と笑顔を見せた田村さんの知識量に驚かされました。今後ますますの活躍を願っています。▽昨年中はさまざまな分野の皆さんを取材させていただきました。大変ありがとうございました。今年も多く市民の皆さんを広報はちまんたいで紹介したいと思っていますので、どうぞよろしくをお願いします。(竜)

▽記事を作ったことありますが、昨年は小林陵侑選手の快挙、ルワンダ選手団の事前合宿が印象に残っています。今年もオリンピックイヤー。取材で関われるのか分かりませんが、できる限り記事にしたいと思っています。新年の抱負で児童の生まれ年の出来事を振り返りました。「えっ、12年も前なの？」と時間の経過を早く感じてしまうのは、過ぎゆくスピードに対応できていないから。児童のように目標を立て、適度な緊張感とワクワク感のある刺激的な1年を送りたいです。(多)